

施策の体系(6つの柱)別の評価のイメージ
 (1)人材育成および活用

参考資料1

| | 事業内容 | 延べ参加者数 | 参加者数の増減理由 | 目標達成度 | 目標達成度の理由(成果や課題など) |
|----|--|--------|----------------------|-------|----------------------|
| 1 | 政策研修センター研修 主任主事・主任技師級昇任者および新規採用職員に対し、琵琶湖環境の課題や取組等を理解させる。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | A | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 2 | 消費者教育支援事業 学校における消費者教育の指導者を支援するため、教員に対して消費者教育に関する研修機会等を提供し、学校現場における消費者教育の推進を図る。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | B | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 3 | エシカル消費推進事業 エシカル消費を、県民一人ひとりが自分ごととして捉え、日々の生活に定着させることを目的として、関係課等と連携を図り、エシカル消費啓発活動を実施する。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | C | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 4 | エコ・スクール推進事業 児童・生徒が主体的に環境学習や環境保全活動に取り組む力を育むため、学校全体で地域とともに活動する学校を「エコ・スクール」として認定し、持続可能な社会の担い手の育成を図る。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | A | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 5 | 幼児自然体験型環境学習事業 保育士や幼稚園教諭等の保育者を対象に、自然を活かした体験型の保育を推進するための実践型学習会を開催 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | B | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 6 | びわ湖の日活動推進事業 企業や各種団体と連携し、琵琶湖と関わる様々な取組「びわ活」の啓発、取組を実施。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | C | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 7 | 滋賀県中学生水の作文コンクール 「水の日」および「水の週間」の行事の一環として、次代を担う中学生を対象とした作文コンクールを実施することにより、広く水に対する関心を高め理解を深める。 | 0 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | B | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 8 | 緑のダムづくり啓発活動(フクロウ先生の森・守塾) 自助共助による防災対策の推進や、緑のダムづくりによる防災対策がいかに重要であるかを地域へ普及するとともに、林野公共事業の推進が本県の環境・防災対策上いかに重要な位置づけにあるかを県民に向け発信していく。 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | A | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 9 | CO ₂ ネットゼロ社会づくり学習支援事業 学校や地域において低炭素社会の実現に向けた環境学習の推進を図るため、地球温暖化防止活動推進員等が学校や地域に出向き学習を進める。 ・県内実施校の「低炭素社会づくり事業」:アドバイザー派遣 50回程度 ・地域団体による地球温暖化対策等の学習:アドバイザー派遣 50回程度 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ ○○ | B | ○○○○○ ○○○○○ ○○ |
| 10 | こみゼロしか推進事業 ごみ減量や資源効果向上をはじめとする環境負荷低減に向 | 100 | ○○○○○ ○○○○○ | C | ○○○○○ ○○○○○ |

| | | | | | | |
|----|-----------------|--|------|------------------------|---|------------------------|
| 11 | ラムサールびわっこ大使事業 | 県内小学生の中から「ラムサールびわっこ大使」を募集し、環境に関する交流の場等での発表機会を経験させることにより、環境保全活動の核となる次世代のリーダーを育成する。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | A | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 12 | しがジビエ活用拡大事業 | 食を通じて、増えすぎた野生鳥獣の捕獲の必要性について県民の理解を深めるとともに、地域資源の利用による地域振興に役立てるため、捕獲獣肉の食肉利活用推進のための普及啓発を行う。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | B | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 13 | 環境学習センター運営事業 | 環境学習をする拠点の1つとして県内の環境学習等を促進するため、インターネットを活用した情報提供、環境学習推進員による相談活用、参考図書等貸出などを行う。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | C | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 14 | 教員研修受け入れ | 教員の身近な自然への興味関心を高めるとともに、より高度な博物館利用者を促すことを目的として、教職員への研修を実施する。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | A | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 15 | 青年社会参加活動促進事業 | 地域の実情に応じた活動を青年自らが企画・運営し、青年の地域活動、自主的な社会参加を図るために行う事業に対して補助を行う。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | B | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 16 | 水産試験場一般公開(公開講座) | 水産試験場の調査研究をはじめ、琵琶湖の魚貝類や漁業について、理解を深め、身近に感じてもらうように、講義や魚の解剖、プランクトン観察等を行う。 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | C | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 17 | しが環境教育研究協議会 | ・環境立県として、持続可能な社会の実現に向けて、全国最先端の環境教育プログラムの開発を目指す。 ・学校における環境教育充実と指 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | A | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| 18 | 初任者研修[高等学校] | り方を学ぶとともに、受講者自身が滋賀の自然や地域と共生するとはどのようなことかを考える機会 | 100 | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ | B | ○○○○○○ ○○○○○○ ○○ |
| | 合計 | | 1700 | | | |